

研修体系設計に係る検討
「新たな教師の学び」に向かう
研修講座の在り方について



山形県教育センター



「新たな教師の学び」

＜ 基本的な考え方 ＞

「教師の学び」をつくる主語は、
教師としての自分。

※ これまでも、これからも変わらない。
変えてはならない。



「学び続ける教師」

「学び続ける教師」とは、具体的に
どのような教師なのだろう？

学びやすい場があると
すれば、それは、どの
ような場なのだろう？

そもそも
学ぶとは、
どういうこと
なのだろう？



検討に当たって

基本
理念

学ぶとはどういうことか？

「学び続ける教師」の姿とは？

内容・
方法

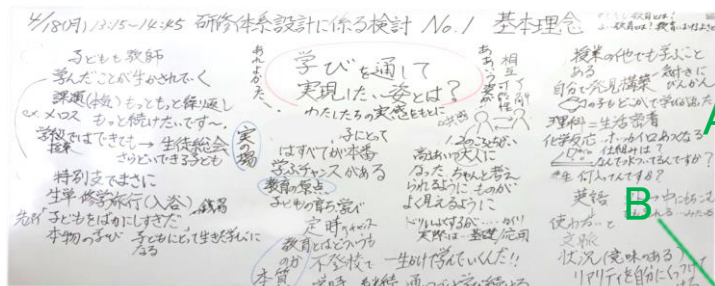
学びやすい場とは？

講座づくり

講座のもち方



検討メンバー：12名（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）



かぼそい 個人の実感

…ホツカイロを
おいていた机に、
水滴が!…なぜ？
その後、
カイロの中身を探
りながら学び続け
る姿。本当の学び
を感じた。

対話

英語もそう。文脈や意味ある状況が大切な感じ。

…ちがう学年や教科の先生と話している時、なぜかうまくいく。

…できないから、教師が何かしてあげれば…

では伸びない。

そうですね。子供が何かに夢中→発見。

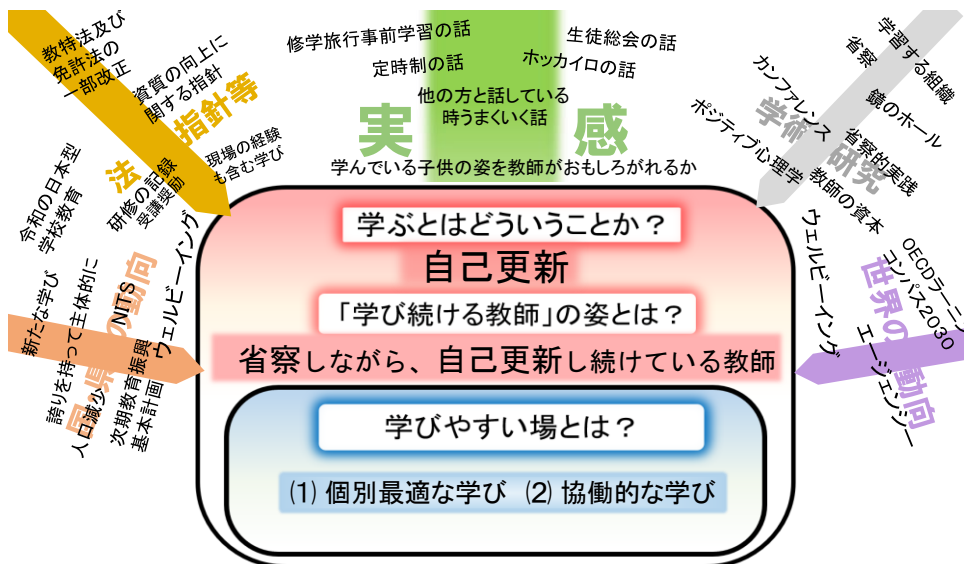
その姿をみて、この子は～なったんだ～と教師が発見。

メンバー間の共感

子供は学んでいる。その姿をおもしろがれる教師かどうか…

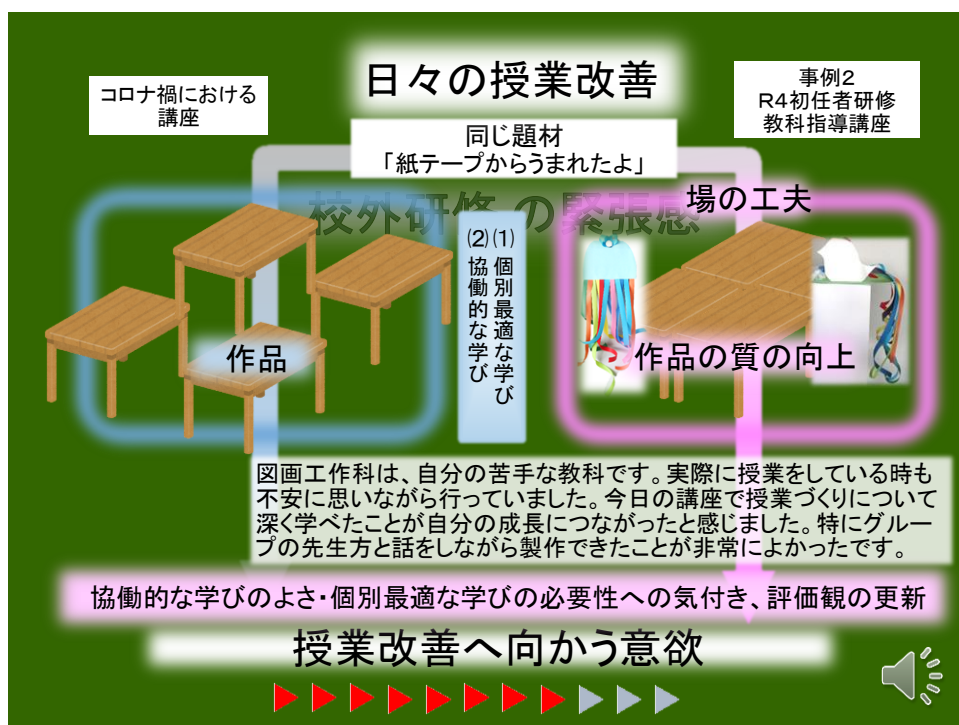
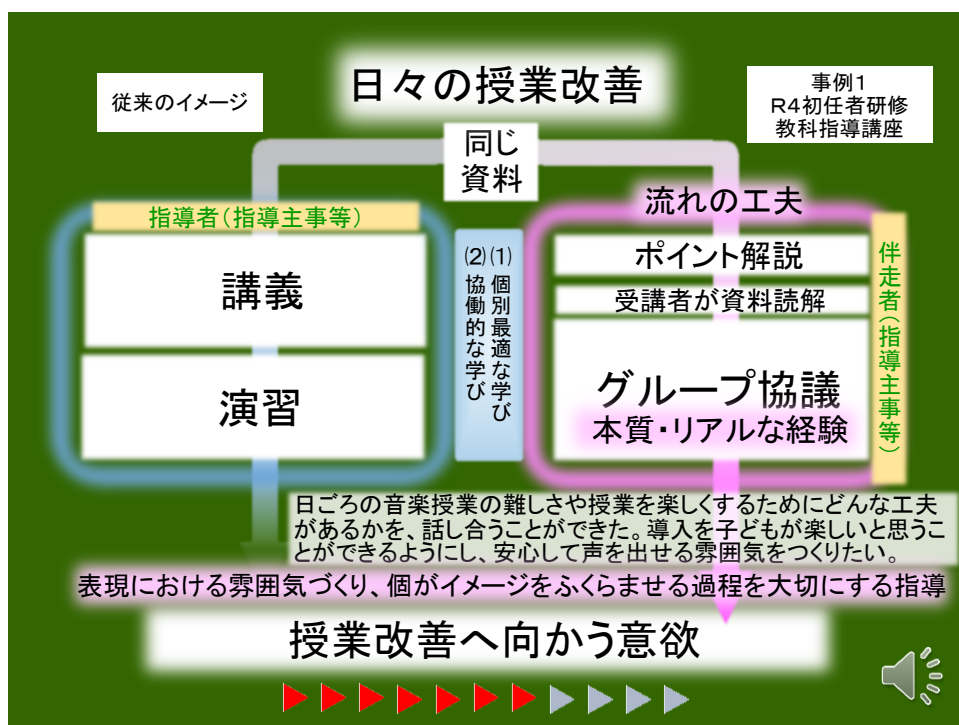


検討メンバーの対話



(1)(2)の視点から、研修講座の工夫に取り組みながら、
これらの問いについて、さらに探ってきた。





子供の姿から学ぶ

事例3
R4初任者研修
「学び続ける教師」



11月までの
実践
自分が学んだ場面
の写真を選ぶ
何を学んだか対話



私は、考え、悩むことがとても増え、苦しい時間が多くなっていました。しかし、今日、まだ頑張れそうだな、今苦しいと思っていることは間違っていないんだなと思うことができました。7カ月ほど教師として働いてみただけで、初めての初任研と違った感じ方ができているということも成長できているとプラスにとらえて、一歩ずつ頑張っていきたいと思います。

子供に学ぶとはどういうことか改めて考えた。ともすれば、自分の実践報告であるかのように見えてしまうが、そう考えた時点で、対等な関係ではなくなっているのかも知れない。尊敬の思いを常に持って、日々の関わり方を充実させていきたい。

半年が過ぎ、教員としての楽しさ、喜びと、難しさ、苦悩両面があるが、相談できる同期、同僚や管理職の先生方がいるので今後も学び続けていきたい。

子供の姿から何を学んだのか、
仲間と省察しながら、自己更新し続けている姿

学び続ける教師の姿
省察しながら、自己更新し続けている姿



R4 私たちの学び

講座の前提について

人は、一方的な情報伝達や一人だけの場では、学びにくさを感じるし、実際に学びにくいものかもしれない。

双方向、グループ、やわらかな雰囲気づくりなどにより、先生方が日ごろの実感をそのまま出せる研修講座にすることがまず大切である。

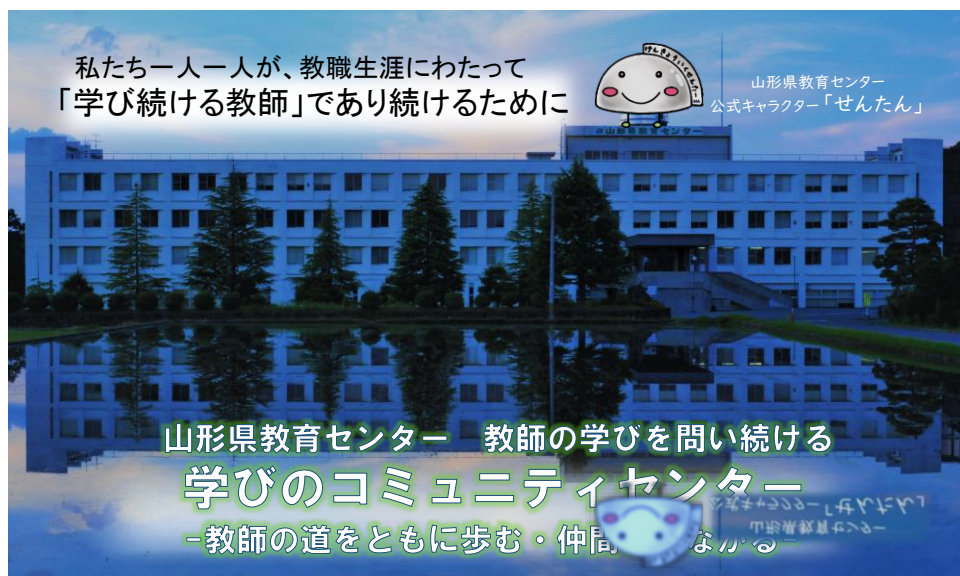
今後の検討課題と方向性

しかし、講座において、ただ、闇雲に語り合えばよいということはない。研修で目指すのは、学びの質の向上である。何のために、何を、どのように語り合うか、その具体が今後の課題である。

この課題に取り組むに当たっては、センター職員自身が主体性を最大限に発揮し、学びの本質を自ら問い続けながら、調査・研究と講座構築の往還に取り組む中で、学び続けることが必要である。

これ即ち、センターが先生方と伴走する存在になりうるということである。





<主な参考・引用文献>

「ポジティブ心理学の挑戦」 マーティン・セリグマン(2014)

「省察的実践とは何か プロフェッショナルの行為と思考」 ドナルド・A・ショーン(2007)

「専門職としての教師の資本 -21世紀を革新する教師・学校・教育政策のグランドデザイン-

アンディ・ハーグリーブス マイケル・フラン(2022)



「せんたん」が、ある日 夜空を見上げたら...

「せんたんニュース」 オンデマンド1号アットナイト

「せんたん」が、ある日 夜空を見上げたら…

巨大新彗星を多数発見!

センターwebも
要チェックだー。

★ 県センター&山形大学がコラボした年間講座が!

★ 小学校担任のための講座も複数回開設!

★ 申込も フォームでお手軽に!

★ ポスターリニューアル

★ いよいよオンデマンド講座もはじまる…



山形県教育センター
公式キャラクター「せんたん」

2022.11.08 皆既月食・天王星食(撮影場所:村山市楯岡)

